

# 武蔵野市産業の現況・課題・産業振興の方向性の検討

本資料は、第二期武蔵野市産業振興計画における5つの基本目標のテーマごとに、今年度実施した実態調査及び専門部会意見を整理し、課題・産業振興の方向性を検討するための資料です。

## 【検討視点】

- ①まだ意見がでていない課題テーマはないか。
- ②これまでの議論で浮き彫りになってきた課題テーマについて、追加すべき意見はあるか。
- ③社会・経済情勢、地域の現況や、これまでの議論を踏まえて、武蔵野市の産業振興の方向性・あり方はどうあるべきか。

※「事業者目線」、「消費者目線」どちらも不可欠と考えています。可能な範囲で事業者として、生活者として、それぞれのお立場からのご意見をお願いします。

## 【次頁以降の表記方法】

	統計データ
	市内事業者アンケート調査結果
	市民アンケート調査結果
	近隣市区民アンケート調査結果
	市内事業者ヒアリング調査結果
	専門部会意見
	複数の出所を有する場合（例：市内事業者ヒアリング調査と専門部会意見の両方）

【参考：第Ⅱ期産業振興計画施策体系】

## 基本理念：“まちの魅力”を高め“豊かな暮らし”を支える産業の振興

基本目標	基本施策	施策（表中★印：重点事業）
-目標1- 武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興	(1) 武蔵野市の特性を活かした産業振興	★①武蔵野市の魅力や価値を高める発信 ②駅周辺への新規産業の誘致・育成 ★③産業と福祉の連携 ★④都市農業の振興と農地の保全 ★⑤コンテンツを活かした事業連携への取り組み
	(2) 都市観光の推進	①来街者を集める魅力的なイベント等への支援 ②武蔵野市ならではの魅力的な店舗を活かしたイベントや発信の検討
-目標2- 地域生活を支え合う産業振興	(1) 生活を支えるサービス(飲食業・小売業・サービス業等)の維持・発展	①魅力ある店舗の支援 ②商店街や大型店の広域連携の支援 ③商店街の環境整備の推進 ④空き店舗等への出店支援体制の検討
	(2) 市民ニーズ等に対応したサービスの充実	①高齢者等の買い物支援策の検討 ②民間サービスを活用した子育て支援策の検討
-目標3- 都市の活力を担う産業振興	(1) 3駅圏ごとの特性に応じたまちづくり	①吉祥寺駅周辺 ②三鷹駅周辺 ③武蔵境駅周辺 ④安全・安心のためのまちづくり
	(2) 産業基盤の安定化の推進	★①むさしの産業サポートネット(仮称)の設立 ②女性・若者の創業支援 ③高齢者の創業支援 ④事業承継支援 ⑤市制度融資や補助金のあり方の見直し ⑥市内産業に関する定期的な調査の実施
-目標4- 情報化や国際化に対応した産業振興	(1) 情報化への対応	★①キャッシュレス決済等ICT化への支援 ②ICT技術導入を支援する制度融資の検討 ③サイバーセキュリティ等への対応
	(2) 国際化への対応	①情報収集と相談窓口の設置 ②外国人労働者の増加に対する対応の検討
-目標5- 武蔵野市内で働く多様な人材による産業振興	(1) 新しい働き方への対応	★①ワーク・ライフ・バランスの市民や事業者向けの啓発 ②女性・若者の雇用・就労支援 ③高齢者の雇用・就労支援 ④障害者等の雇用・就労支援 ⑤外国人労働者の増加への対応
	(2) 人材の育成と活用	①商工会議所等と連携した経営支援の強化 ②大学生の活躍の場づくり

# 基本目標 1 武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興

ライフスタイルや価値観の多様性を受容する時代において、多様な人々に選ばれる武蔵野市であり続けるために、地域の個性を活かし発信しながら、個々の期待に応えた産業の振興を図ります。  
武蔵野市に暮らし、働き、学び、集う人々に、まちづくりや文化創造など多様な観点から、居心地の良い空間と充実した時間を提供します。

## 基本施策（1）武蔵野市特性を活かした産業振興      基本施策（2）都市観光の推進

### 【現況・課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間人口が夜間人口を上回っており、<b>通勤・通学者が多い</b>まち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野市を訪れる頻度は、『週に1回程度以上』が約1/4、『月1回程度以上』が5割強。「ほとんど行かない」は2割強</li> <li>・<b>来街目的</b>は、「買い物」は6割弱、「食事」が1割台半ば。</li> <li>・「買い物」は40歳代以上が30歳代以下と比べてやや高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>まちが成熟</b>して魅力が薄れ始めている</li> <li>・個店に頼るまちづくりが限界を迎えている</li> <li>・文化人が多く住んでいても、<b>文化を発信する場</b>がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>高い賃料</b>が若い事業者にとって高いハードルとなっている</li> <li>・武蔵野市の賃貸物件は賃料が高い</li> <li>・市内産業用賃貸物件の流動化が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この5～6年で<b>来街者・旅行者の購買行動、旅行スタイル</b>が変化した</li> <li>・体験等の金銭で測れない価値のある旅が人気</li> <li>・地域住民を大事にする観光でなければならぬ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家戸数及び農業従事者は減少傾向にあり、<b>後継者問題</b>が要因となっている</li> <li>・農家は相続税の支払いのため農地を手放していることが農地減少の一つの要因</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に <b>47 商店会</b>と<b>私立大学4校</b>、<b>専修学校6校</b>が立地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>個店が減り</b>、ナショナルチェーンが増えて、吉祥寺が面白くなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>クリエイティブなデザイナーやアニメ会社</b>が多い</li> <li>・アーティストはアイデアを持っているが、事業化する資金調達が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉祥寺は、<b>イベントを開催するスペース</b>が少ない</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家数・農業従事者数・農地面積ともに減少傾向</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近<b>来街者が減少</b></li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来街者が高齢化</li> </ul>					

### 【産業振興のあり方】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・活力あるまちとして<b>若い人を引きつける</b>まちの魅力向上が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、武蔵野市の魅力向上に必要なことは、「核となる大型商業施設の誘致」、「まちを回遊して楽しめるコースづくり」、「特色や個性のある小売店の増加」等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個店に頼るのではなく、まちのブランディングや一体感を市が主導して形成すべき</li> <li>・敢えてアナログな方法でまち歩きの魅力を作ることも一案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信はアナログな方法でも伝わる<b>ことが重要</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>稼ぐ観光</b>への意識醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家見学ツアーのように事業者同士をつなげる事業があることを情報発信して欲しい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎやかなまちにしていきたい</li> <li>・<b>人のつながり</b>を大事にするまちが良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメ、まんが、ゲームなどの<b>クリエイター</b>が<b>集積</b>していることを活かした産業振興・まちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内産業の活性化に必要なまちづくりは、<b>居心地が良く歩きたくなるまちづくり</b>（道路の修復、ベンチの設置等）、イベントができるオープンスペースの整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を大切に<b>する観光</b></li> <li>・一過性でない観光振興</li> <li>・武蔵野市にある自然、文化、四季、食等の<b>付加価値の高いコンテンツの活用</b>（環境、福祉、農業等）と<b>コラボ</b>すればSDGsにもつながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人を含めた観光客が市内の宿泊施設を利用する仕掛けが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>大学生</b>が持つ感覚、アイデア、発信力を活かして、SNSで武蔵野市の農業の魅力を発信すれば、農業の応援団が増える</li> <li>・<b>実体験</b>を配信してもらうほうが伝わる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちとしての<b>ブランディング</b>が必要</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO+LAB MUSASHINO事業で<b>農業と飲食店とのつながり</b>が出来ることに期待</li> </ul>	

## 基本目標2 地域生活を支え合う産業振興

“住みたいまち”“住んでよかったまち”として選ばれ続けるため、子どもから高齢者までが安心して暮らすことができ、住んでいる地域に誇りと愛着を持ち続けられるよう、個性ある店舗や飲食店をはじめ日常生活を支える身近な産業の振興を図ります。  
商店会が行うキャッシュレス決済の導入等ICT化の取組みを支援することにより、商店会の競争力を上げ、地域の生活を支えます。

### 基本施策（1）生活を支えるサービスへの維持発展

### 基本施策（2）市民ニーズ等に対応したサービスの充実

#### 【現況・課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内人口は今後も増加傾向が続く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内産業の活性化に必要なまちづくりは、<b>居心地が良く歩きたくなるまちづくり</b>（道路の修復、ベンチの設置等）、イベントができるオープンスペースの整備等（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に密着した大型商業店と一緒に何かできれば良い</li> <li>・小さい店舗とのつながりは、お互いに顔が見えて協力関係を築けるのが良い点だが、収益につながりづらい（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店会の課題は、活動メリッットの低下、店主の高齢化、集客力のある店舗不足等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家問題は治安や景観、住環境の悪化を招き、地域全体に影響を及ぼす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいと店舗が離れてしまい、<b>地域ネットワークが希薄化</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内循環率は100%を超える</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の商店会に望むことは、「<b>買い物しやすい、歩いて楽しい商店会</b>」、「生活必需品が購入できる」、「キャッシュレス化」等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個店も空き店舗が増えまちとしての一体感がなく、道すがらまちを楽しむような魅力が薄れてきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国チェーンの店が増えた影響で新しく入ってくる人が増えても、地元の組織を知らないことで、消防や祭り等の成り立たないコミュニティが増えている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅都市としての土地利用構成をなす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営課題では、<b>商品・サービスの魅力向上</b>が上位に挙げられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のネットワークづくりは、異業種事業者との交流・連携、市内事業者との取引拡大への関心が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店会は世代交代が必要</li> <li>・商店会によって活動や連携に温度差がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動への取組は3割弱がすでに取り組んでおり、関心はあるが取り組んでいないも3割弱を占める</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野市は<b>ライフステージが変わっても様々な楽しみ方がある</b>まち</li> </ul>					

#### 【産業振興のあり方】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしやすい住宅都市を実現する産業のまち</li> <li>・住民の<b>ウェルビーイング</b>を実現するまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興策として重要な取組は、「生活を支える産業の振興（医療・福祉・子育て等）」、「商業・サービス業の振興」、「商店会の振興」、「ライフステージ（子育て・介護・就学等）に応じた柔軟な働き方支援」等</li> <li>・30歳代以下では、「<b>ライフステージ（子育て・介護・就学等）に応じた柔軟な働き方支援</b>」が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が中心にあることを意識した産業を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の課題解決に向けて、地域住民、事業者、専門家が中心となり、空き家を活用したコミュニティビジネスを推進してはどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店会は社会動向の変化に対応した<b>コミュニティ機能の担い手</b>としての活動が期待される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根付いたコミュニティがあると、子育て世代が住みやすく、起業家が集まってくる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅都市における産業振興</li> <li>・住民の暮らしやすさやニーズに合わせて地域資源や人材を循環させることで課題を解決し、ビジネス化していく仕組みづくり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の目線では、収益の増大につながる創造の場があれば活躍してもらえると</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗を期間限定で若い経営者に貸して、実績が出ればテナントとして入居できる試みがあってもよいのではないかと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店会が<b>まちのコモンズ</b>になって欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は店が連携して企画したイベントに子育て中の親も集まり、情報交換や交流の場となっていた。今はそのような機会が少なくなっている</li> </ul>

# 目標3 都市の活力を担う産業振興

市内には、鉄道3駅（吉祥寺・三鷹・武蔵境）が設置されています。3つの駅はその周辺に特徴的な市街地を形成しており、安全・安心のまちづくりを推進しながら、新たな企業の進出や創業を誘発するハード・ソフトの展開等を図るとともに、既存事業の承継にむけた支援制度を検討します。近年コンテンツ産業の集積が進むとともに、全国展開している複数の飲食業の本社等も進出しています。これらの事業者との連携により、様々な交流を図り、地域の活性化につなげます。

## 基本施策（1）3駅圏ごとの特性に応じたまちづくり

## 基本施策（2）産業基盤の安定化の推進

### 【現況・課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>この20年で住と商いが離れ、まちの空気が変わってしまった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺には自分のやりたいことを実現している<b>個性的な店が多い</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺は<b>休憩場所</b>が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺：若い人を引き付けるまち</li> <li>三鷹駅北口中央地区：業務系利用の促進</li> <li>武蔵境：緑が多く、ファミリー層の増加を踏まえた活性化等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>承継したいが候補者がいない。どのように募集したらよいか分からない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農家戸数及び農業従事者は減少傾向にあり、<b>後継者問題</b>が要因となっている（再掲）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>休日等に、買い物や食事によく行く場所は、「自宅の最寄駅周辺」、「吉祥寺駅周辺」、「新宿」の順で続く</li> <li>「新宿」は『20歳代以下』で高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺はコロナ禍でも人通りが多いが店の<b>消費につながっていない</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺は、<b>イベントを開催するスペース</b>が少ない。（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業比率は近隣自治体の中で高位につけているが近年低下傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4割弱が事業承継に関する課題を持つ</li> <li>課題内容は後継者の育成が最も高い</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺には様々な店があり、幅広い年齢層が楽しめ、何でも揃う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺地区は住宅に囲まれていて<b>事業用の土地活用が困難</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺、三鷹駅北口中央地区、武蔵境の3駅それぞれの個性に合わせた施策が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅から離れていても人が歩いていく仕掛けができれば、そこでも商売ができ賃料負担も軽減される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材不足で事業計画が立たない場合、廃業する企業が増加する</li> <li>セカンドキャリアを活かした雇用の提供、<b>女性や若者の創業育成</b>支援も重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農家は相続税の支払いのため農地を手放していることが農地減少の一つの要因となっている。（再掲）</li> </ul>

### 【産業振興のあり方】

<ul style="list-style-type: none"> <li>産業が<b>持続的発展</b>するまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR3駅圏の個性と特徴を生かした活性化と<b>ブランディング</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政が取り組むべき支援策は、事業所・店舗の改修、設備更新・新規導入や資金調達（融資）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業しやすい環境の提供が重要（空き家を活用したコミュニティビジネスの推進等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商売をする場所と住む場所を一緒にして、<b>若い人</b>が思いついたことを実現できる環境づくりが突破口になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職のインターンと同じように承継者候補が2～3年働くことが出来る仕組みがあればよい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>安心安全</b>をよりアピールすることで武蔵野市のポテンシャルが高まる。安心安全の下での産業振興に励んではどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人を集めるためには、公園とは違う、<b>憩いの場</b>が必要</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>駅から離れた個人店や若い人が起業した店を支援するためには、インターネットを活用したデジタル配信を行い、若い消費者を取り込む必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武蔵野市以外で働いている約7割の人が定年を迎えた後、市内で<b>セカンドキャリアを実現し充実</b>させることが市内産業の活性化につながる</li> <li>地元での起業と事業承継をマッチングできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継をどのように進めたらよいか分からないため、アドバイスが欲しい</li> <li>金融機関や公的な相談窓口を利用したことはない</li> <li>セミナーへの参加は、知り合いに会う可能性があるため抵抗がある</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内産業の活性化に必要な<b>まちづくりは、居心地が良く歩きたくなるまちづくり</b>（道路の修復、ベンチの設置等）、イベントができるオープンスペースの整備等（再掲）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li><b>中心市街地を核とした広域への回遊性づくり</b>（駅から離れた店舗への来店促進）</li> </ul>		

## 目標4 情報化や国際化に対応した産業振興

ICT・AI等の技術が日進月歩で進化していくことを背景に、「ヒト、モノ、カネ、情報」等が国境を越えて行き交うグローバル化が一層進展しています。このような時代にあって、従来の事業のあり方を見直し、必要な変革が求められています。市内事業者のICT化やグローバル化への取組みに対し、将来にわたり競争力を保てるよう支援していきます。

### 基本施策（1）情報化への対応 基本施策（2）国際化への対応

#### 【現況・課題】

・SNS等の普及によって、情報発信の仕方が紙媒体以外のものに変化している

・ICTについて、経営者に**苦手意識**がある経営者が少なくない

・デジタル化への取組における課題は、対応する**人員不足**や技術に詳しい**人材がない**といった人材面について資金的余裕がないが続く

・デジタル化の推進には費用の支援が必要だが、補助金の申請には手間がかかる  
・また、補助金申請のための計画を立てる人材を確保が難しい  
・設備投資を抑えている状況では、デジタル化に踏み込めない

・デジタル化含め、何をしたらいいのか分からない  
・アドバイスがあると助かるが、小さい個店には対応する時間がない

・2割弱がデジタル化に取り組んでいるがうまくいっていない事業者の課題も対応する人員不足  
・関心はあるが取り組んでいないが2割弱

#### 【産業振興のあり方】

・経営者に苦手意識を解消（技術支援・導入効果の見える化）

・ZOOMやメールが苦手なため、訪問相談はありがたい。相談窓口へのアクセス方法が複数あって、使いやすいものがあるとよい

・費用負担の支援よりも、導入後の不安に対してサポート業者と提携して**技術支援**を推進する方が効果的ではないか

・BtoBとBtoCの観点から、仮想空間でマーケットプレイスを形成することは家賃対策や起業のきっかけになる

・事業者が必要性を理解していない場合、デジタル効果を見せることが必要

・駅から離れた個人店、若い人が起業した店の支援（インターネットを活用したデジタル配信等）

## 目標5 武蔵野市内で働く多様な人材による産業振興

人口減少社会の進行に伴い、労働力不足の慢性化が顕著になっています。女性や高齢者等の参画に加え、出入国管理・難民認定法の一部改正\*により、様々な職場で外国人の就労が増えることが見込まれます。労働力を確保するためには、事業者側にも新しい働き方への対応が必要であり、働く人の事情に合わせた柔軟な勤務制度等の検討が求められます。

これらの多様な人材が、心地よく働き続けることのできる環境の整備や、働くことを希望する市民を支援する開かれた産業の振興を図ります。

### 基本施策（1）新しい働き方への対応

### 基本施策（2）人材の育成と対応

#### 【現況・課題】

・将来的には生産年齢人口は減少に転じる

・従業員の高齢化が進んでおり、計画的な人材採用を考えなければならない

・以前は、技術者として責任ある仕事をするために長時間労働が常態化していたが、現在は働き方改革によって社会的に長時間労働を解消する流れになっている。

・人材確保が困難（人材紹介サービスの利用等による採用コストの増加）

・人材を確保するため取組みたいことは、安定経営、社員育成・スキルアップ対応等

・市民アンケートでは約1/4%が市内への就業に関心を持っている

・3割弱が**人材不足**と回答

・事業の一部だけでも任せられる人が欲しいが確保が困難

・農業の収穫期にパートを雇いたいのが、雇用の仕組みが分からない

・今後、**シニア世代の第二創業や副業**の比重が大きくなる

・社員は充足しているが、パート・アルバイトが不足している

・店をマネジメントする人材を探しているが、適任さが見つからない

#### 【産業振興のあり方】

・**多様性、専門性、個性**を育むまち

・若者からシニアまで、**それぞれのライフステージに応じた働き方**ができるまち

・人材の確保は難しいが、自ら企画提案して仕事に取組み、面白いことをやっている会社だと伝われば、やりがいを感じてもらえる

・武蔵野市限定の求人サイトがあればよいと思う。当店の場合、自転車を通える範囲内で人材を確保できることが重要

## 第二期武蔵野市産業振興計画にはない（または十分に記載されていない）視点や課題など

### 【現況・課題】

・ 6割半ばがコロナ禍前より売上高が減少している。マイナスの影響は7割強

・ **新型コロナウイルス感染症拡大の影響**でライフスタイルや購買動向が変化した

・ 新型コロナウイルス感染症拡大で変化した人の行動や価値観に対応することが、産業の発展につながる

・ 原材料価格の上昇

・ 武蔵野市は自然環境に恵まれている  
・ 環境に配慮することがスタンダードになる地域を目指すべき

・ 武蔵野市にあるコンテンツと環境、福祉、農業等がコラボすれば **SDGs** にもつながる

・ 経営課題では、**商品・サービスの魅力向上**が上位に挙げられている

・ 武蔵野のおみやげ「むさしのプレミアム」に選ばれるだけでは、販売・販路の拡大にまでは至らない。むさしのプレミアムの充実を望む

・ 武蔵野市にはクリエイティブなデザイナーやアニメ会社が多い  
・ 大学・大学生が多い

・ 多様な連携に関心があっても取組等の情報が得られない

・ 住まいと店舗が離れてしまい、地域ネットワークが希薄化（再掲）

・ 今後の**ネットワークづくり**は、異業種事業者との交流・連携、市内事業者との取引拡大への関心が高い（再掲）

・ 若い世代が活動できる機会を提供すること、若い世代のネットワークで人と人がつながることが重要であり、若い人たちが大勢集まって会議をすることも面白いのではないか

### 【産業振興のあり方】

・ **チャレンジ**したい人を応援するまち（武蔵野市は歴史的背景からチャレンジ精神が根付いている）

・ **2030年頃を見据えた中長期的スパン**で考え、仮説をたてる  
・ そのために必要な施策を検討する方がよいのではないか

・ 産業振興はあらゆる産業がターゲットであり、通常の商業的な消費だけではなく、**福祉、子育て、働き方、SDGs** についても考える

・ デジタル化は必要だが、アナログで人と人がつながることも重要である

・ キーワードは「**つながる**」  
つながる、コミュニケーションが生まれるまち

・ 地域に密着した大型商業店と一緒になかできれば良い  
・ 小さい店舗とのつながりは、お互いに顔が見えて協力関係を築けるのが良い点だが、収益につながりづらい（再掲）

・ 年配者が若者のコンサルタントになる方がよい。年齢にも多様性が必要。（再掲）

・ 体験、共有、共感できる場や仕組みづくり（前向きなワクワク感は、一人では生まれにくく、つながっている中で生まれる）  
・ 積極的にイベントを企画し、交流が化学反応を起こす  
・ 学生目線での産業振興、学生と大人の両方が学びあえる関係性を築ける場づくり

・ 学生との連携に関心がある  
・ 学生のアイデアを積極的に形にしてあげたい

・ **SDGs** 等によって社会的に価値を持つ企業をめざす（パーパス経営の実現）  
→ 既存の事業や活動の新たな価値を付加し、人手不足解消や生産性の向上等の課題解決